

事務事業名		佐野各地区敬老会開催事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	教育総務部	担当課	公民館管理課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	企画課	担当課長名	石川 一尚	
	施策	1 豊かで健やかな長寿社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 生きがいづくりと社会参加の促進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	14433	一般	10	4	2	佐野各地区敬老会開催事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H17年度～ 年度		根拠法令 条例等	実施方法		直営			
					老人福祉法	事業分類		支援事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
					市長マニフェスト						

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
敬老会を開催してくれる団体に対して、敬老会の開催を円滑に進めるために、敬老会対象者の把握、敬老会開催通知発送等の支援事業を実施するものである。			活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
			敬老会該当者調査委託回数		回	1	1	1	1	1
			95歳記念品購入回数		回	1	1	1	1	1
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
佐野各地区において敬老会を開催する団体			対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
			補助対象団体		団体	8	8	8	8	8
目的 ③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
各地区で実施されている敬老会開催を円滑に進められるよう、指示・誘導をする。			成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
			円滑に敬老会が実施された割合		%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
永年培った知識・経験を活かし、多様な社会活動へ参加できるようになる。その結果、高齢者の知識・経験が若年世代へと継承される。			上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
			ふれあいサロン参加高齢者(延べ)		人	61,082	66,000	64,232	61,082	66,000
		老人福祉センター利用者(延べ)		人	148,959	144,000	140,071	148,959	144,000	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)					
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	805	907	1,019	1,100	1,100					
	事業費計(A)	千円	805	907	1,019	1,100	1,100					
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
			報償物資費	183	報償物資費	272	報償物資費	379	報償物資費	340	報償物資費	340
			消耗品費	34	消耗品費	25	消耗品費	25	消耗品費	30	消耗品費	30
電算委託料			588	電算委託料	611	電算委託料	615	電算委託料	730	電算委託料	730	
人件費	人	2	2	2	2	2						
のべ業務時間	時間	100	100	100	100	100						
人件費計(B)	千円	389	389	389	389	389						
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,194	1,296	1,408	1,489	1,489						

事務事業名	佐野各地区敬老会開催事業	担当部	教育総務部	担当課	公民館管理課	担当係	企画課
-------	--------------	-----	-------	-----	--------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和50年代頃から、各地域において敬老精神の高揚を目的として開始された。なお、教育委員会事務局から、会場である公民館に予算組み替えがあったものであり、合併後は主催が実施団体に移行した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	敬老会対象者である高齢者の人数・人口比率とも、漸減傾向にある。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	敬老会参加の高齢者から、祝いの品の質が年々低下しているようだと意見がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(コストの見直し)	対象者が増加はしているが、コスト見直しを図った。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	開催団体が実施する、高齢者福祉・高齢者生活向上への理解・支援を拡げることで、高齢者の社会参加が促進されるものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	高齢者福祉の理解促進と、生活向上のための敬老会を開催する団体に活動支援を実施することは、行政の責務である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	対象・意図とも整合性がある。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	佐野・田沼・葛生とも、基本的に合併前のやり方を継承しているので、順次やり方を同じ方向にしていこうと、一層の成果向上に繋がるものと考えられる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業があり統合・連携できる・している	理由・改善案	類似事務事業名   敬老祝金贈呈事業 意図・結果は同じであり、機動的な運用が可能となると判断されるものである。
	* 類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	どうしても削減を図る場合には、他の高齢施策事業と統合することで、結果的に費用削減に繋がるものである。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	敬老会の対象者が、社会や佐野市に対して永年貢献・功労があった高齢の方であり、受益者負担は馴染まない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	① 実施が困難になった場合。② 他施策に統合された場合。③ 高齢者を廻る環境が改善され、敬老会の必要がなくなった場合。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
事業統合・連携 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。	限られた財源で、如何に高齢者の皆さんに満足して頂くかが最大の課題である。原点到立ち帰って、高齢者を敬うことは、問い続けることこそ、解決の道である。																					
① 当該事業は、高齢者施策所管配分事業に属し、対象者が増加しているが、事業費を抑制しなければならず、統合・連携は避けられないと判断される。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>①</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	①		×		低下		×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持	①		×																			
	低下		×	×																			